

Office 365 標準と Discoveries InSite インテリレポートの機能比較

2017年6月更新

SharePoint 標準機能で提供されるアクセスログデータに加えて、インテリレポートが独自に取得するアクセスログデータによって、ページや、アイテム、ファイルなどの詳細分析が可能になります。そのため、利用する社員を特定したり、どのデバイスからどのブラウザを使って何のコンテンツを閲覧しているのか等の詳細の利用傾向を知ることができます。検索ワードランキングからは社員がどんなキーワードでよく情報検索するのも把握できます。

▼ Office 365 標準と Discoveries InSite インテリレポートの機能比較表

データ項目	内容	Office 365 標準	インテリレポート	監査ログ連携
ページ URL		●	●	●
ユーザーエージェント		●	●	●
リファラーURL		●	●	
接続 IP アドレス		●	●	●
ページ タイトル	SharePoint のページ名が記録されます		●	
サイト タイトル	SharePoint のサイト名が記録されます		●	
ユーザーID	アクセスしたユーザー (Office 365 アカウント) が特定できます		●	●
スクリーンサイズ	ブラウザをどのように開いて閲覧したのか確認できます		●	
OS 種別	ユーザーエージェントから種別を分類します		●	●
ブラウザ種別	ユーザーエージェントから種別を分類します		●	●
デバイス種別	ユーザーエージェントから種別を分類します		●	●
クッキーID	IR 独自のクッキーID を記録することで、連続したアクセスを判別できます		●	

※監査ログ連携を行った場合の取得対象は、Office365 およびインテリレポートに差異はありません。